科目ナンバー	SEM-3-004-ky			科目名 課題演習 (大嶋)								
教員名	大嶋 果織			開講年度学期	202	0年度 後期]	単位数	2			
概要 (:	課題演習を踏まえつつ、次の課題に取り組む。 ①前期フィールドワークを通して学んだことを大学祭で展示発表する。そのための準備を通して、何を やんだのか、第三者に内容を伝えるにはどうしたらよいのか、まとめる力を養う。 ②先行研究を読み、問いの立て方や論文の書き方を学ぶ。 ③学生一人ひとりがテーマを選んで調査研究を進め、発表・討論を経て、小論文にまとめる。 ②③のために問題解決に取り組むNGO等の活動を学びながら、人権とは何か、共生社会とはどのような 社会か、具体的に考える力を身につける。 ③課題を具体的に捉えるために、後期もフィールドワークを行う。											
到達目標	考えをまとめる力、それを他者に伝える力を身につける。 問いを立てる力、探求する力、多様な視点から物事を見る力、プレゼンテーションと討論する力、思考 力、文章力を身につける。 自分の関心領域やテマを見つける。 テーマを一つ選び、小論文を仕上げる。											
「共愛12の力」との	対応	T		1								
識見	T	自律する力		コミュニケーションカ		 	問題に対応する力		T			
共生のための知識		自己を理解する力		伝え合う力			分析し、原	思考する力				
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		0	構想し、乳	実行する力	0			
グローカル・マイ ンド	0	主体性	0	関係を構築する	る力	0	実践的ス	キル	0			
教授法及び課題の フィードバック方 法	個人研究、グループワーク、プレゼンテーションと討論を中心にすすめる。											
アクティブラーニン	グ	サービスラ	ラーニング			課題解決型	皇学修					
受講条件 前提 科目	課題演習1											
アセスメントポリ シー及び評価方法	発表、活動・討論への参加、小論文等によって総合的に評価(発表30点,討論への参加30点,小論文40点)											
教材	課題演習1と同じ											
参考図書	課題演習1と同じ。その他、授業で紹介する。											
内容・スケジュー ル	①内容 ・第1回 長期休暇中の課題の発表と後期スケジュール確認。 ・第2回〜第4回 フィールドワーク展示発表の準備。文字資料や写真など、フィールドワークを振り返りながら学んだことをまとめる。第三者に伝えるために必要な技術を身につける。 ・第5回〜第12回 学生発表と討論を中心に下記の内容で進める。その際、前期で用いたテキストを活用する。なお、順番と回数は進捗状況に応じて決定する。 「論文読解フォーム」に記入しながら、先行研究論文を批判的に読む訓練をする。特に、問いの立て方、資料の探し方、論証の仕方、論理の組み立て方を学ぶ。 先行研究論文読解と共に、テマに関連するNGOのウェブサイトやニュースレター等を調べ、問題解決のために何が必要か、テーマについて理解を深める。 先行研究論文読解レポートを発表する(グループワーク)。 小論文にまとめるための自分のテーマを考える。「小論文計画フォーム」を利用しながら、先行研究を読んで構成を考え、発表する。 ・第13回〜第14回 4年生と合同で卒業論文発表会を行う。共生社会の実現のための人権課題について視野と知識を広げる。 ・第15回 まとめ 以上の他、後期のまとめとして小論文を執筆する。また、フィールドワークも行う。 ②授業外学修時間 長期休暇中の課題まとめ(2.0) 展示準備(8.0) 先行研究論文読解レポート発表(4.0) 小論文計画発表(6.0)											

Number	SEM-3-004-ky	Subject	Junior Specialty S						
Name	大嶋 果織(Oshima Kaori)	Year and S emester	Second semester for 2020	Credits	2				
utline	The purpose of the second stage of this seminar is to deepen the questions that students find in the process of exploration in the first semester. Students will find their own theme to explore on the issues of human rights, inclusive society or justice and peace issues through reading books/t heses, exploring NGO's activities or fieldwork researches.								